

温暖化対策・・・

節電対策・・・

「緑のカーテン」

作りにチャレンジ!!

「緑のカーテン」とは？

ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物を使って建物の窓を覆うことで、夏の日差しをさえぎると同時に葉っぱから出る水蒸気でまわりの温度を下げる自然のカーテンのことです。

「緑のカーテン」の効果は？

日差しによる室温の上昇を抑えるとともに、植物の葉から水分が蒸発するときに周囲の熱をうばうので、気温を下げるすることができます。エアコンの設定温度を高め設定できたり、使用時間を短くできるなど省エネルギー効果が期待できます。

また、花を見て楽しんだり、作物を収穫して食べられる利点があります。



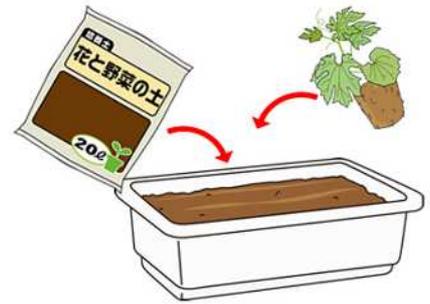
窓の無いところでもOK

昼の日差しで暖められた壁は、夜に熱を放出し寝苦しい夜の原因になります。窓の無い壁でも「緑のカーテンを作ってみましょう。

緑のカーテンの作り方

土の準備

まずプランターに水はけを良くするために鉢底石を敷きます。次に押し込まずふんわりと空気を入れるように土を入れます。



苗をプランターに植え替える

苗の根を傷つけないようにプランターに植え替えます。苗と苗の間隔を、アサガオは12～15cm、ゴーヤは20～30cm位あけてください。(地植えの場合はもう少し間隔をあけるとよいでしょう)

水やり

プランターは水の蒸発・流出が早く、伸び盛りになるとよく乾くので水切れを起こさないように水やりは毎日やりましょう。(梅雨時は根腐れを起こしやすいので控えめに、真夏は朝と夕の2回するとよいです。)

雨水をためておいたものなどを使うと環境に優しいですね。

ネットを張る

つるがある程度伸びてきたらネットを設置しましょう。この時、支柱や重石を使ってネットを固定します。ビニールテープなどでつるを誘引しましょう。



追肥

2週間に1度くらい根元を避けて肥料をあげるとよく育ちます。ただし、肥料のあげすぎには注意！

成長したら

つるが広げたいところまで伸びたら先端を切ります。(摘芯)すると横から子づるが伸びだし全体に広がり、より緑のカーテンらしくなります。花や実ができたなら見たり食べたりして楽しみましょう。

片づけ

秋になり涼しくなってきたら片づけましょう。種がとれたら風通しの良い冷暗所で乾かして密閉容器に入れて冷蔵庫などで保存しましょう。

お問い合わせ

三芳町環境課 環境対策係

電話 049-258-0019(内線 216・217)

メール kankyo@town.saitama-miyoshi.lg.jp